

A close-up photograph of pink cherry blossoms in full bloom, set against a clear blue sky. The flowers are the central focus, with some in sharp focus and others blurred in the background. The text is overlaid on the center of the image.

**法政大学理工学部・生命科学部
共通ガイダンス(英語)**

ガイダンスの内容

- 『履修の手引き』から
英語プログラムの説明
単位認定
- 法政大学での英語学習について
 - ① 授業
 - ② 自学自習
 - ③ 国際プログラム
- 12月のTOEIC試験

手元に『履修の手引き』を準備
して下さい。

※画面上にも表示しますが、
字が小さいので各自の手引き
を見て下さい。

■英語科目のプログラム

1. 理念と目的

大学での英語教育の目的は、学術研究に資する英語の習得であることは論を待ちませんが、同時にTOEIC®などの英語資格試験に代表される一般的コミュニケーション英語に対する学生の要望、社会の要求に応じていかなければなりません。この考え方に基づいて、二つの目的の英語「学術目的の英語」(EAP: English for Academic Purposes)と「一般教養目的の英語」(EGP: English for General Purposes)を区別し、両者を有機的に関連づけることによって学問の場にいる者にふさわしい教養の涵養を目指します。

2. 英語カリキュラムの構成と科目

英語必修科目は8単位とし、1年次で総合基礎英語をEGPプログラムで固め、2年次で大学で研究するに足る最低限の英語の習得をEAPプログラムを目指します。1年次のEGPプログラムでは、豊かな語彙力・正確な文法力に支えられた4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)の向上を目指します。2年次のEAPプログラムでは、文章の論理構造を分析し、効果的な読解方法によるパラグラフ・リーディング、そして論理的な文章を書くパラグラフ・ライティングからプレゼンテーションを目指します。クラスサイズは、EGPプログラムのコミュニケーション・ストラテジー、EAPプログラムのアカデミック・ライティングの二つにおいて、学生数を最大20人以下の少人数制とします。入学時のプレースメントテスト(TOEIC®-IP)と1年次終りのTOEIC®-IPテストによって、2年間を通じて習熟度別クラス編成を行います。習熟度別クラスは英語学習効率を高めるのが目的です。上位クラスでの不公平感を解消するために上位クラスに行けば行くほど成績が優遇されます。

英語の選択科目としては、「特定目的の英語」(ESP: English for Specific Purposes)の科目、例えば、基礎英語、英語中級コミュニケーション、英語中級リーディング、英語中級ライティング、上級英語、英語資格試験準備講座(TOEIC®準備講座)などの科目を置いています。

(1) 英語プログラムの科目

① 英語必修科目 (EGP・EAPプログラム) 8単位

a. EGPプログラム 1年次配当	単位
コンプリヘンシヴ・イングリッシュ(Comprehensive English) I (春学期)・II (秋学期)	半期1単位で計2単位
コミュニケーション・ストラテジー(Communication Strategy)	半期で2単位
b. EAPプログラム 2年次配当	単位
アカデミック・リーディング(Academic Reading) I (春学期)・II (秋学期)	半期1単位で計2単位
アカデミック・ライティング(Academic Writing)	半期で2単位

英語プログラムについて

手引き 理工 p.17, 生命 p.13

小金井キャンパス英語科目の2つの目的

- ①一般教養目的の英語の習得
日常生活レベルで必要とされる英語
- ②学術目的の英語の習得
論文の読み書き、学会発表など、
アカデミックな場面で必要とされる英語

この2つの目的を達成する為に、1・2年次で必修科目①～④を履修してもらいます。

【一般教養目的の必修英語科目】

①コンプリヘンシヴ・イングリッシュ I・II

Iは1年次春学期、IIは1年次秋学期

②コミュニケーション・ストラテジー

1年次春又は秋学期(半期のみ)

【学術目的の必修英語科目】

③アカデミック・リーディング I・II

Iは2年次春学期、IIは2年次秋学期

④アカデミック・ライティング

2年次春又は秋学期(半期のみ)

※この4種類の授業は、必修科目なので、卒業までに必ず単位を取得する必要があります。もしできない場合は、卒業や進級に影響します。単位を落とした場合は、翌年度に再度履修する必要があります。

② 英語選択 (ESP) 科目 (各科目とも半期1単位)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 基礎英語 (Basic English) 英語中級コミュニケーション (Intermediate Oral Communication) 英語中級リーディング (Intermediate Reading) | <ul style="list-style-type: none"> 英語中級ライティング (Intermediate Writing) 上級英語 英語資格試験準備講座 (TOEIC®準備講座) その他、ビジネス英語などの ESP 科目 |
|--|--|

手引き 理工 p.18, 生命 p.14

必修科目に加えて、**選択科目**もあります。個人の興味関心に応じて履修する科目です。履修は必須ではありません。基礎レベルや資格試験対策のクラスもあります。
※取得単位は卒業に必要な単位に含まれます。(ただし、上限あり)

(2) 英語学習スケジュール

1年	共通テスト	春学期 4月-7月	秋学期 9月-1月	12月第1日曜日
	必修科目	TOEIC® Test (1回目)	Communication Strategy*	Communication Strategy*
		Comprehensive English I	Comprehensive English II	
	選択科目	基礎英語など	英語資格試験準備講座**等	
2年	共通テスト	春学期 4月-7月	秋学期 9月-1月	12月第1日曜日
	必修科目	Academic Writing*	Academic Writing*	TOEIC® Test (3回目)
		Academic Reading I	Academic Reading II	
	選択科目	中級リーディングなど	英語資格試験準備講座**等	

【TOEICの受験について】
 2年次終了までに必ずTOEICを**3回**受験する必要があります。※日程等の詳細は学務から連絡予定
 ①入学時(4月)
 ②1年次(12月)
 ③2年次(12月)
※特段の理由なく受験をしない場合は、ペナルティがありますのでご注意ください。

* Communication StrategyとAcademic Writingは、少人数制で、指定された春学期か秋学期のどちらかを受講します。空いている方の半期には、英語選択科目を受講することを強く勧めます。
 ** 「英語資格試験準備講座」は、現在、TOEIC®準備のための講座だけ開設しています。目標レベルはおおよそ500点から700点で、どの講座クラスも共通となります。

3. 共通TOEIC®テストとクラス編成について

1年生と2年生は、TOEIC®テストの結果でクラス編成を行います。1年生クラスは入学時のTOEIC®-IPテスト、2年生クラスは1年次の12月に実施される2回目のTOEIC®-IPテストの結果によってレベル別のクラスに分けられます。このようにすることで学生は最適な学習環境で英語の授業を受けることができます。なお、成績評価は公平を期するためにクラスのレベルが考慮され、上位クラスに行けば行くほど成績が有利に評価されます。しかしながら、それは下位クラスではA+やS評価がとれないということではありません。どれだけ努力したかもむろん評価されます。

また、TOEIC®テスト結果によって、成績優秀者は以下に述べるボーナス制度の対象となり、授業科目の成績が優遇されます。TOEIC®テストは、必ず受験してください。受験を怠るとTOEIC®テストによるボーナス制度を受けられないだけでなく、その結果によって編成する2年次のクラスが決まらず、履修登録ができない事態が起こります。万一やむを得ず受験できないものは直ちに所属学部窓口へ申し出て指示を受けてください。

【必修英語のクラス分け】
 必修英語のクラス分けはTOEICのスコアに基づいて行います。
 1年次: 入学時(4月)のTOEICスコア
 2年次: 1年次12月のTOEICスコア

※クラスレベルの不公平感を無くす為に、成績評価を行う際には、**クラスレベルを考慮して成績を付けるように決められています**。上のクラスへ行けば行くほど、より良い成績がとりやすくなるようにしていますので、心配はいりません。

(1) TOEIC®テストによるボーナス制度

- ① 1年秋学期Comprehensive English IIの成績の優遇（基本的には1段階上げること）が担当の先生に推奨されます。

条件：TOEIC®テスト（1回目入学時）の結果と12月のTOEIC®テスト（2回目）の結果を比べ、著しいスコア上昇がある場合。ただし、基になる入学時のTOEIC®テストのスコアが極端に低い場合、この制度の対象とはなりません。また、このボーナスは自動的に付与されるものではありません。該当科目の先生の判断で決まります。授業の成績が非常に低く努力が認められない場合などは、優遇が受けられません。

- ② 2年秋学期Academic Reading IIの成績の優遇（基本的には1段階上げること）が担当の先生に推奨されます。

条件：1年次終了12月のTOEIC®テスト（2回目）と2年次終わりのTOEIC®テスト（3回目）の結果を比べ、著しいスコア上昇がある場合。ただし、基になる1年次12月のTOEIC®テストのスコアが入学時より下がった場合、上昇判定基準は厳しくなります。また、このボーナスは自動的に付与されるものではありません。該当科目の先生の判断で決まります。授業の成績が非常に低く努力が認められない場合などは、優遇が受けられません。

③ 単位認定制度

- a. TOEIC®テスト（2回目または3回目）において、620点以上の得点で、「英語資格試験準備講座」をRR評価で単位認定します。RRとは授業に抛らないで単位認定されたという意味です。スコア取得の翌年を単位認定とし、もし休学などした場合には対象外とします。なお、このスコアは学内のTOEIC®テストを受験した場合のみ有効で、外部試験を受験した場合は適用されません。この制度の該当者には個別に連絡します。また単位認定された科目は履修単位制限制度には含まれますが、GPAの算出対象外となります。
- b. 「英語資格試験準備講座」を秋学期に履修中の場合、620点以上はA評価、700点以上はS評価が推奨されます。ただし、この優遇評価は自動的に与えられるものではありません。講座担当の先生の判断で決まります。欠席や遅刻が多い、授業態度および授業内評価が悪いなど、努力が認められない場合は、この推奨の対象とはなりません。

(2) TOEIC®テストによるペナルティー制度

- ① TOEIC®テスト（2回目）を正当な理由なく欠席した場合、有料のTOEIC®公開テストを受けて結果を3月末日までに提出しなければなりません。これも怠った場合、2年次の習熟度別クラスが決まらないので英語必修科目の履修登録ができません。万が一やむを得ない理由で公開テストも受験できなかった人は、直ちに所属学部の窓口に出向いて指示を受けてください。
- ② TOEIC®テスト（3回目）を理由なく欠席した場合、3年次に英語選択科目の履修登録はできません。

【TOEICによるボーナス制度】

TOEICで一定の基準を満たすスコアを取得した場合「ボーナス」を受けることができます。

必修科目成績の優遇

コンプリヘンシヴ・イングリッシュⅡ（1年秋）

アカデミック・リーディングⅡ（2年秋）

※ただし、授業での状況を考慮の上決定

単位認定

「英語資格試験準備講座」の単位を認定

※授業に参加する必要なし

※「英語資格試験準備講座」を履修中の場合は、スコアに応じて成績を考慮

ボーナス制度の対象になるように、スコアアップを目指しましょう！

【TOEICによるペナルティー制度】

1年次2回目のTOEIC（12月実施予定）を受験しない場合、2年次の必修科目の履修登録ができません。

また、2年次のTOEIC（12月実施予定）を受験しない場合、3年次に英語選択科目の履修登録ができません。

※3回のTOEICは必ず受験しましょう。

4. TOEIC®受験について

TOEIC®とは、自分の英語力を客観的に測るための物差しです。英語力を伸ばすためには、地道な自習を行うと同時に、自分の英語の実力をテスト結果に反映させるため、TOEIC®のテスト形式に慣れる必要があります。そのため、英語担当の先生方によっては、授業の中でTOEIC®準備の指導をする場合があります。また、選択科目のTOEIC®準備講座を利用することもできます。

しかし、本学部の英語教育の目的は、英語コミュニケーション能力を養成することを基本に、研究生活に役立つ英語を身につけることであり、単にTOEIC®の点数を上げることはありません。大学は受験対策予備校ではないことを忘れないでください。

(1) TOEIC®受験準備参考書

TOEIC®受験準備参考書は、どこの本屋にも専門のコーナーがあり、何百冊も山積みになっています。どれを選んだらいいのか迷ってしまいます。まずは、『TOEIC®公式問題集』を手に入れて実力を試してみてください。英語の授業でTOEIC®の指導がされる場合は、その先生方の指示に従ってください。自分でもっと勉強したいという人は、別途配付する『英語上達への道』を参考にしてください。

(2) 英語学習の時間数と TOEIC®の関係

TOEIC®の英語資格試験で 100 点成績を上昇させるためには、大雑把に言って約 200-300 時間の英語学習が必要といわれています。1 科目あたりの英語学習時間は、週 1 回 100 分授業に対し、少なくとも 2~3 時間の自宅学習（予習・復習）が必要です。すると、1 科目あたりの総英語学習時間は、次表のように半期で約 51~65 時間となります。

これを上記の英語プログラムに当てはめれば、1 年生の終わりに必修 2 科目（半期×3）と選択 1 科目で約 204~260 時間になりますから、まじめに英語に取り組めば、TOEIC®テストにおいて 1 年間で 100 点の成績上昇も難しいことはありません。2 年次には、さらに必修 2 科目と選択 1 科目で 200 時間以上積み重ねることができ、2 年間で TOEIC® 500 点以上の達成も十分可能です。これを実現するために、試験前に一夜漬けで勉強することなく、くれぐれも普段からの積み重ねで英語の実力をつけてください。

<英語 1 科目当たりの半期授業時間と学習時間>

授業回数	授業時間	自習時間	半期総学習時間
14 週 (半期 14 回)	23 時間 (100 分×14 回)	28-42 時間 (週 2-3 時間×14 回)	約 51-65 時間

5. 英語全クラス共通の出席規則

英語全クラスとも共通で **3 分の 1 以上または 5 回以上の理由なき欠席**で成績を不合格（D）とします。さらに細かな出席規則については各クラス担当の先生が定める方針に従ってください。ただし、JABEEなどの外部基準が導入されている学科では、これより厳しい規則が適用される場合がありますので、それぞれの学科の規則に従ってください。

残念ながら、週 2 回の英語の授業だけでは十分とは言えません。英語学習を

【出席規則】 重要！！

1 学期に 14 回の 100 分授業が行われていますが、このうち 3 分の 1 以上、又は 5 回以上の理由なき欠席をした時点で、成績が不合格 D (単位取得不可) となります。

例年特に秋学期は、季節的に寒くなる為、体調を崩しやすくなったり、朝起きられなくなったりと、欠席回数が増える傾向にあります。もし単位を落としてしまったら、必修科目の場合は、卒業や進級に大きく影響しますので、自己管理をしっかりと行って、授業にきちんと出席するようにして下さい。

※その他、授業への遅刻の扱いなど、クラスごとに担当教員が定めるルールを守りましょう。

英語関連科目の 単位認定について

手引き 理工 p.8, pp.12-13
生命 p.7, pp.10-12

- 英語科目: CE, CS(1年), AR, AW(2年)
- 教養科目:
 - 基礎英語、英語資格試験準備講座、
中級〇〇、上級〇〇など
 - SAプログラム
- 自由選択科目:
 - 一定の制限内で卒業所要単位に数える
 - ERP、ESOP、GO科目、短期語学研修、
海外インターンシップ・ボランティア など
- 派遣留学など: 単位互換
- Gラウンジ: 単位認定外

必修4種類→【英語科目】として認定

選択英語科目+SAプログラム
→【教養科目】として認定

これらの科目は、
【公開選択科目(理工)】
【自由選択科目(生命)】
として認定

海外の大学で取得した単位を、法政大学の
単位として読み替え可能

青字で書かれているプログラムについて
は、この後の資料に説明があります。

法政大学での英語学習について

学校の中では「英語＝科目」ですが、現実的には英語は言語の1つであり、**何らかの目的を果たすための「ツール」**です。つまり、単位が取れたからそれでヨシ！というものではありません。

英語科目の履修は英語学習の一部にすぎないので、常にスキルアップを続けていくことが大切です。

では…具体的にどうすればいいのか？

以下の3つをうまく組み合わせることで、より効果的な学習が可能となります。

- ① 授業
- ② 自学自習
- ③ 国際プログラム

①

授業

必修科目の他に、選択科目が提供されています！
中級、上級科目、資格試験対策科目、基礎科目など、
個人の興味関心に応じて選択可能です。

1年生も大歓迎です！



上級英語

中級リーディング、中級ライティング、
中級コミュニケーション

必修科目(2年): AR, AW

ビジネス英語

必修科目(1年): CE, CS

基礎英語

英語資格試験準備講座

①授業

②自学自習

HONDANAにて、『英語上達への道』(電子版)を提供しています。自学自習の方法や、先輩方がどのように英語学習に向き合ってきたかなど、とても有益な情報が得られます。自学自習の参考にして下さい！



上級英語

中級リーディング、中級ライティング、
中級コミュニケーション

必修科目(2年): AR, AW

ビジネス英語

必修科目(1年): CE, CS

基礎英語

英語資格試験準備講座

自学自習(『英語上達への道』など)

② 自学自習

『英語上達への道』(English Learning Strategies)

1. 先輩たちの体験談
 2. スピーキングの準備
 3. リーディング: 多読のすすめ
 4. リスニング: NHKの語学番組
 5. ライティング: 英語で日記のすすめ
 6. ネット利用の勉強法
 7. TOEICとTOEFLについて
 8. エビングハウスの忘却曲線
- 補: 法政大学の英語教育関係プログラム

HONDANAにて、電子書籍を提供
※4月中旬公開予定

ぜひ自学自習の参考にして下さい！

(法政大学理工・生命科学部 英語教育部門編)

- ① 授業
- ② 自学自習
- ③ 国際プログラム



派遣留学、海外インターンシップ・ボランティア

ESOP科目、GO科目

ERP科目、SA短期語学研修

上級英語

中級リーディング、中級ライティング、中級コミュニケーション

必修科目(2年): AR, AW

ビジネス英語

必修科目(1年): CE, CS

基礎英語

英語資格試験準備講座

自学自習

(『英語上達への道』など)

Gラウンジ利用

その他に、様々な国際プログラムが提供されています。

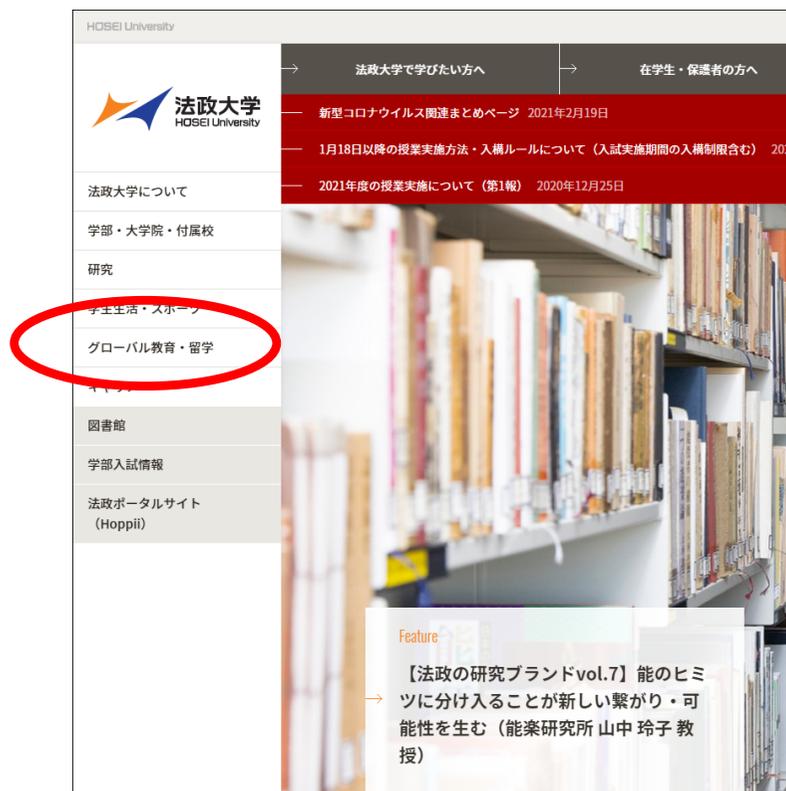
③ 法政大学グローバル 教育プログラム

- GO(グローバル・オープン)科目
- ESOP(派遣留学生プログラム)科目
- ERP(英語強化プログラム)
- Gラウンジ
- イベント



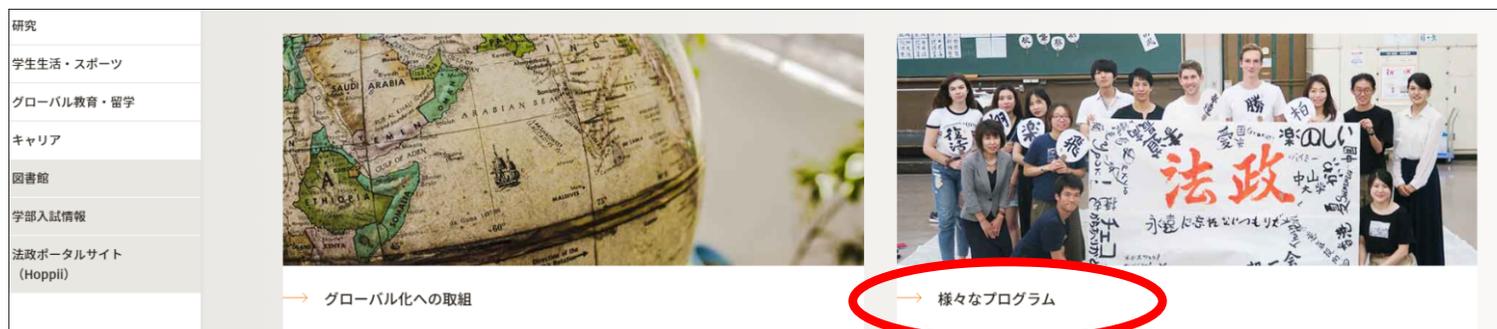
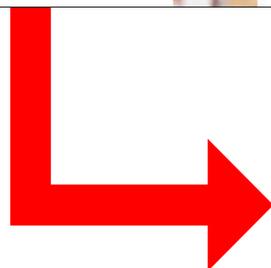
- 派遣留学プログラム
- 国際ボランティア・インターンシッププログラム
- SA(スタディ・アブロード)プログラム
- 短期語学研修

グローバル教育について情報をアクセス

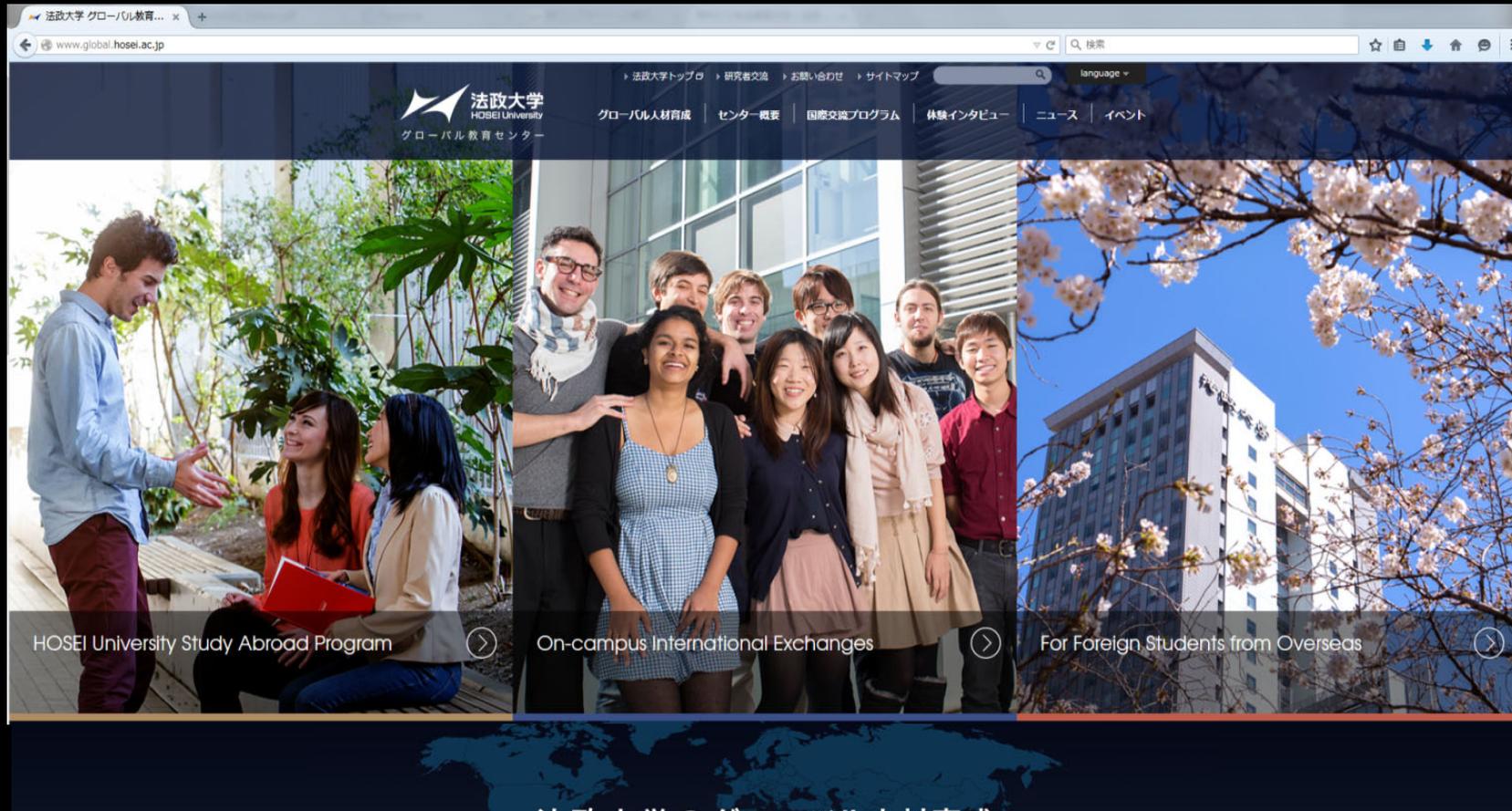


詳細は大学の
ホームページで！

<https://www.hosei.ac.jp/kokusaikoryu/>



あるいは



法政大学グローバル教育センター

URL: www.global.hosei.ac.jp

GO科目（グローバル・オープン科目）

On-campus Global Programs

グローバル・オープン科目

[On-campus Global Programs](#) / [Home](#)

グローバル・オープン科目は、法政大学が「世界のどこでも生き抜く力を身につけたグローバル社会のリーダー」を育成するために2016年度から全学で開講されている学部横断型の公開科目群です。

プログラムの特徴

1. 授業は全て英語で行います。
2. 授業は少人数で行います。
3. すべての学部で実施をしています。

手引き 理工 p.13, 生命 p.11

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/go/>

交換留学生受入れプログラム(ESOP)科目 学内で英語で行われる授業

交換留学生受入れプログラム(ESOP)

本学の国際化の発展に向け、これまで交流を深めてきた海外の協定大学から広く交換留学生を受け入れるため、1997年度より英語を教育言語とした本プログラムを開設。日本語習得を除くすべての授業が英語で行われ、日本文学、社会、政治、経済などのテーマを中心に、米国や英国のようにゼミ形式中心の授業となっています。英語による授業は世界各国・地域から集まる交換留学生だけではなく、本学学生も受講でき、多くの学部で単位が認定されます。

交換留学生受入れプログラム(ESOP)



The screenshot shows the website for the ESOP program. The main heading is '国際交流プログラム' (International Exchange Program) with a sub-heading 'ESOP(交換留学生受け入れプログラム)'. A navigation breadcrumb reads: '国際交流プログラム > 学内でできる国際交流 > グローバル・ラーニングプログラム > ESOP(交換留学生受け入れプログラム)'. The page title is '交換留学生受入れプログラムを受講する皆さんへ'. The main text describes the program: 'Regular Hosei students with sufficient English language skills are encouraged to enroll in ESOP lecture courses with international exchange students. These courses are taught completely in English. They focus on Japan, but include a wide variety of topics such as business, culture, economics, environmental issues, gender, international development, literature, philosophy, politics, and sociology. For Hosei students, taking ESOP courses is a way to learn more about one's own culture, to prepare for study abroad, or to simply enjoy the challenge of taking a university-level class in English. It is also a chance to help international students deepen their understanding of Japanese language and culture through interaction with you!'. Below this, it states: 'Due to the limited number of ESOP lecture courses, however, regular Hosei students should generally enroll in no more than two classes per semester.' The author is listed as 'Mark E. Field'. On the left side, there is a sidebar menu with '国際交流プログラム' selected, and other options like 'ERF(英語強化プログラム)', 'ESOP(交換留学生受け入れプログラム)', '学内向け募集要項', '春学期コースガイド', and '秋学期コースガイド'.



学内向け募集要項



春学期コースガイド

手引き 理工 p.12, 生命 p.10

<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/>

ERP(英語強化プログラム)

概要

ERP(英語強化プログラム)はネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成とその統合を目的としたプログラムです。将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方に受講をおすすめします。

英語力の総合的な底上げ

listening、speaking、reading、writingの4つの技能統合を重視した授業！

留学準備・留学後のフォローアップ

実用的な英語が身に付くので、留学前の準備や留学後の英語力維持に。

外国人講師

ほとんどの授業は外国人講師が担当します。

少人数授業

1クラス10名程度で、双方向の授業ときめ細かい指導。



手引き 理工 p.12, 生命 p.10

<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

Gラウンジ(管理棟3階)

On-campus Global Programs

Gラウンジ (Global Lounge)

[On-campus Global Programs](#) / [Home](#)

概要

外国語コミュニケーション空間として「Gラウンジ (Global Lounge)」を3キャンパスに展開しています。キャンパス内にいながらにして、留学生や英語学習アドバイザーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、より実践的な語学力を身に付けることができます。「英語学習アドバイザー」は、正課授業実施日のうち月～金の1日3時間(3キャンパス:月・火・木・金ともに12:30-15:30)、Gラウンジで学生の来室を待っています。英語で話してみたい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたい、など学生の様々な希望に対応します。ERP(英語強化プログラム)に参加していない学生も、どうぞ気軽に来室してください。また、日本人のスタッフが常駐しており、ERP(英語強化プログラム)の窓口となっています。その他、Gラウンジで行う様々な活動については、イベント/ニュースで随時お知らせしています。

開室日時、場所などの詳細は↓をクリック

https://www.global.hosei.ac.jp/on_campus/g_lounge/



国際プログラム：イベント

法政大学
HOSEI University
グローバル教育センター
グローバル教育センター
スーパーグローバル大学創成支援事業

国際交流プログラム

国際交流プログラム

法政大学の留学制度
学内でできる国際交流
外国人留学生の方へ

イベント

- 2021.02.19 【参加者募集】悩める学生のための先輩トーク(2/27オンライン)
- 2021.02.18 【参加者募集】ブレイキング工科大学(スウェーデン)とのオンライン情報交換会(3/9)
- 2021.02.04 【参加者募集】安徽三聯学院(中国)とのオンライン食文化交流イベント開催のお知らせ(3/27(日)15:00-16:00開催予定)
- 2021.02.03 【募集終了】リーズ大学(英国)との第1回オンライン学生交流会(3/5開催)

大学主催の様々なイベントのお知らせはこちら

たとえば、協定校のイギリスにあるリーズ大学の学生交流会

イベント > 2020年度 > 【募集終了】リーズ大学(英国)との第1回オンライン学生交流会(3/5開催)

2021.02.03
【募集終了】リーズ大学(英国)との第1回オンライン学生交流会(3/5開催)

2020年度
2019年度
2018年度
2017年度
2016年度
2015年度
2014年度
2013年度

法政大学
HOSEI University
法政大学協定校交流会 第2弾
UNIVERSITY OF LEEDS

オンライン
学生交流会 with リーズ大学

3月5日(金)
19:00~20:30

- 対象 / 本学学部生
- 募集人数 / 20名(応募者多数の場合は抽選)
- 交流テーマ / 「英・日の大学生活」(各国の専攻等)
- 実施内容 / ①本学学部生によるプレゼンテーション(日本語) ②グループディスカッション(日本語・英語)
- 参加費 / 無料
- 詳細・お申し込みはこちら →

お問い合わせ: グローバル教育センター国際交流課
市谷キャンパス(本学山崎校舎)
hosei@hosei.ac.jp

派遣留学プログラム

派遣留学制度

留学先の授業料全額免除、奨学金も支給される「派遣留学制度」

学部を問わず、2・3年生の応募者の中から選考のうえ、3・4年次に奨学金を支給し、各協定大学に1年間派遣する本学独自の留学制度です。オーストラリア、韓国の大学へは春学期入学、その他の大学は秋学期入学の募集です。奨学金は派遣先大学により70～100万円が支給され、派遣先の授業料は全額免除されます(ただし留学年度の本学の学費は本人負担)。

また、留学先の大学で修得した単位は、教授会で審議の上、学部により30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

※支給される奨学金の一部(20万円)は本学後援会から助成されています。

派遣留学制度

指定校の
サンディエゴ州立大学
(米国)



https://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/haken/

理工・生命SAプログラム

夏休みや春休み期間中に、2～4週間程度、海外の大学で学びます。
※プログラムの詳細は学務課からのお知らせを確認して下さい。



「英語によるコミュニケーション能力向上とともに、科学技術分野で必要とされる実践的英語スキルの習得に対する強い動機付けを目的としています」

短期語学研修

- 夏休み・春休み中、2～4週間
- 英語：クアラルンプール（マレーシア）、セブ（フィリピン）、ノースシドニー（オーストラリア）、ポートランド（米国）、ヴィクトリア（カナダ）
- 募集：4月中旬（夏期研修） 10月中旬（春期研修）



http://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/short_term/



国際ボランティア・ インターンシッププログラム

国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな国から参加する仲間と協働できる語学力が求められる国際ボランティアプログラム、さらに高いレベルの語学力が要求される国際インターンシッププログラムを提供します。このプログラムに参加した学生は、身に付けた語学力を生かし、グローバルなフィールドで仕事をするを通して、課題解決能力を養います。また、留学では得られない国際協力やグローバルビジネスの現場での経験を得ることで、将来のグローバルなキャリアへの視野を広げます。

国際ボランティア・インターンシッププログラム



https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/volunteer_internship/

トビタテ！留学JAPAN

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～は、諸外国の大学等といった教育機関での留学だけでなく、企業でのインターンシップや学生が立案した多様なプロジェクト等の留学を支援します。

学内エントリー：毎年12月～1月

理工・生命先輩経験者： 数名

文部科学省HP:

<https://tobitate.mext.go.jp/info/document/>

https://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/ryugaku_japan//

次回のTOEICは**12月初旬を予定**

※具体的な日程等の詳細は、後日学務課より連絡します。

2年生の英語クラス分けのために

必要ですので、**必ず受験**してください

Try to improve your English every year!

Thank you for reading!